



## 情報通信機器やAV機器などエレクトロニクス製品の世界市場を調査

—2027年市場予測（2021年比）—

- ワイヤレスイヤフォン／ヘッドフォン 6億3,000万台（77.0%増）  
 ……音質や電池性能の向上が進み市場拡大
- SSD 4億4,000万台（22.6%増） ……PC向けが市場をけん引

マーケティング&コンサルティングの株式会社富士キメラ総研（東京都中央区日本橋 社長 田中 一志 03-3241-3490）は、リモートワークやオンライン授業の普及に伴う需要増加が落ち着いたノートPCやタブレット端末、製品の高機能化が進み需要が増えているワイヤレスイヤフォン／ヘッドフォンなどのエレクトロニクス製品の世界市場を調査した。その結果を「[2022 ワールドワイドエレクトロニクス市場総調査](#)」にまとめた。

この調査では、AV機器11品目、白物家電5品目、情報通信機器・インフラ14品目、OA機器／産業機器5品目、モビリティ／車載電装機器9品目、ユニット製品・部品9品目について市場の現状を調査し、将来を予想した。

### <注目の市場>

#### ●ワイヤレスイヤフォン／ヘッドフォン

2021年	2020年比	2027年予測	2021年比
3億5,600万台	114.5%	6億3,000万台	177.0%

Bluetoothが搭載されたワイヤレスイヤフォン／ヘッドフォン、スマートフォン向けヘッドセットを対象とした。

近年は価格帯や性能面でさまざまな製品が発売されており、ユーザーの選択肢が増えていることから市場が拡大している。2021年は半導体や部品不足の影響を受けて伸びが鈍化したが、True Wirelessタイプは好調で、市場は前年比14.5%増の3億5,600万台となった。

今後は、ミドルからハイエンドモデルで、音質の改善や電池性能の向上が進み、市場は拡大が続くと予想される。

#### ●タブレット端末

2021年	2020年比	2027年予測	2021年比
1億6,950万台	100.7%	1億4,450万台	85.3%

7インチ以上のディスプレイとOSを搭載した端末を対象とした。

2010年代後半は主にスマートフォンとの競合によって需要減少が続いたが、2020年にリモートワークやオンライン授業が普及したことで需要が増加した。2021年はリモートワーク需要が引き続き好調だったが、半導体不足の影響で生産が制限されたため、市場は横ばいとなった。2022年は、リモートワークやオンライン授業に伴う特需は落ち着き、市場は前年比マイナスが予想される。

今後は、スマートフォンやノートPCとの競合から市場は縮小が続くとみられる。

#### ●ノートPC

2021年	2020年比	2027年予測	2021年比
2億3,600万台	117.4%	2億2,500万台	95.3%

クラムシェルタイプ及び2in1タイプノートPCを対象とした。

新型コロナに伴うリモートワークの普及によって需要増加が続いており、2021年の市場は前年比17.4%増の2億3,600万台となった。急速な需要増加のなか、関連半導体やTFT LCDの供給不足が発生したた

め、生産・供給が追いつかない状況となった。2022年は半導体不足が続いていることから、前年割れが予想される。

今後は、半導体不足による生産への影響が解消し、2020年の「Windows 7」サポート終了時の駆け込で購入された機種が2024年から2026年にかけて買い替え期を迎えることから需要が緩やかに増加するとみられる。

#### ●据置型Wi-Fiルーター

2021年	2020年比	2027年予測	2021年比
3億1,000万台	106.9%	3億4,300万台	110.6%

無線LAN関連機器として屋内向けの家庭用AP（中継器を含む）を対象とした。

新型コロナの影響でリモートワークが普及し、無線通信環境を整える家庭が急増したことから、2021年の市場は前年比6.9%増の3億1,000万台となった。

2022年は半導体不足に伴い無線LANチップの調達に時間がかかるため、供給に大きな影響が出ており、市場の伸びは鈍化するとみられる。長期的には、リモートワーク特需が一巡していくことから需要が落ち着き、今後はリプレース需要を中心に微増を維持していくと予想される。

#### ●SSD

2021年	2020年比	2027年予測	2021年比
3億5,890万台	116.5%	4億4,000万台	122.6%

SSD (Solid State Drive) は、主にHDDの代わりにNANDフラッシュメモリーを記憶媒体とした記憶装置である。インターフェースとしてSATA、SAS、PCIe、NVMe、USBなどを搭載した製品を対象とした。

SSDは、HDDからの置き換えが進み市場は拡大している。現状、PC（デスクトップ、ノート）向けが6割以上を占めている。2021年はSSD搭載率が高まっているノートPCが好調だったことに加え、据置型ゲーム機がSSDを標準搭載したことで市場は大幅に拡大した。

今後は、サーバー・データセンター向けが好調を維持するものの、市場の多くを占めるPC向けのSSD搭載率はすでに高いため、伸びは鈍化するとみられ、2024年以降は市場が緩やかに拡大すると予想される。

#### <調査結果の概要>

##### ■エレクトロニクス製品の世界市場

2021年は、新型コロナの影響が続き、それに伴い発生した物流遅延、労働力不足の問題に加え、半導体不足が深刻化したことにより、エレクトロニクス製品の生産計画に支障をきたした。

AV機器ではOLED-TV、デジタル一眼カメラ、ヘッドマウントディスプレイ、ワイヤレスイヤホン/ヘッドフォン、スマートグラスが好調となった。白物家電は、中国メーカーの生産体制が早く回復したことや、新型コロナの影響による消費者の健康意識向上などを背景にプラスとなった。情報通信機器・インフラは、ノートPCやスマートスピーカー、スマートウォッチ/ヘルスケアバンドがけん引して拡大した。OA機器/産業機器では、ページプリンターとインクジェットプリンターが半導体不足や生産拠点のロックダウンの影響で縮小したが、複写機/複合機、ドローン、監視カメラが好調で、プラスとなった。モビリティ/車載電装機器ではシステムの搭載義務化などにより車載カメラやミリ波レーダーを中心に好調で、プラスとなった。ユニット製品・部品では特に大型/中小型OLED、SSD、光トランシーバーが好調だった。

<調査対象>

A V機器			
・LCD-TV	・デジタル一眼カメラ	・ワイヤレスイヤホン	・DVD/BDプレーヤー
・OLED-TV	・据置型ゲーム機	／ヘッドホン	・DVD/BDレコーダー
・コンパクトDSC	・ヘッドマウントディスプレイ	・カムコーダー	・スマートグラス
白物家電			
・ルームエアコン	・洗濯機	・空気清浄機	
・冷蔵庫	・掃除機		
情報通信機器・インフラ			
・スマートフォン	・スマートスピーカー	・据置型Wi-Fi	・スモールセル基地局
・タブレット端末	・スマートウォッチ／ヘルスケアバンド	ルーター	・C-RAN基地局
・ノートPC	・フィーチャーフォン	・モバイルWi-Fi	
・PCモニター	・デスクトップPC	ルーター	
・サーバー		・マクロセル基地局	
OA機器／産業機器			
・複写機／複合機	・ページプリンター (LED／レーザー)	・インクジェットプリンター (MFP/SFP)	・ドローン ・監視カメラ
モビリティ／車載電装機器			
・自動車	・カーオーディオ	・ヘッドアップディスプレイ	・ミリ波レーダー
・次世代自動車	・カーナビゲーションシステム	・車載カメラ	・ドライブレコーダー
・自動二輪車			
ユニット製品・部品			
・大型LCD	・中小型OLED	・SSD	
・中小型LCD	・小型カメラモジュール	・光ピックアップ	
・大型OLED	・HDD	・光トランシーバー	

<調査方法>

富士キメラ総研専門調査員によるヒアリングおよび関連文献、データベース活用による調査・分析

<調査期間>

2021年12月～2022年3月

以上

資料タイトル	「 <a href="#">2022 ワールドワイドエレクトロニクス市場総調査</a> 」		
体裁	A4判 304頁		
価格	書籍版 165,000円(税抜150,000円) 書籍/PDF版セット 198,000円(税抜180,000円) 書籍/集計ファイル版セット 220,000円(税抜200,000円) 書籍/PDF+集計ファイル版セット 253,000円(税抜230,000円) ネットワークパッケージ版 330,000円(税抜300,000円)		
発行所	株式会社 富士キメラ総研 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目9番1号 日本橋三丁目スクエア TEL: 03-3241-3490(代) FAX: 03-3241-3491 URL: <a href="https://www.fcr.co.jp/">https://www.fcr.co.jp/</a> e-mail: info@fcr.co.jp		
調査・編集	第二部		
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/press/">https://www.fuji-keizai.co.jp/press/</a>			